

2025 年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

研究機関名： 弘前大学医学部附属病院
脳神経内科
研究責任者： 西畠 春生

皆様の試料・情報を利用させていただき、下記の研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない方は、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 一般住民におけるアルツハイマー病疾患修飾薬の認知度の調査
(2025 年度)

研究の目的

高齢化社会において、認知症は大きな問題となっています。アルツハイマー病は認知症の最も多い原因ですが、従来の薬は病気の進行を遅らせることはできませんでした。2023 年 12 月 20 日に新たなアルツハイマー病治療薬（レカネマブ）が発売になりました。病気の進行を遅らせるという、これまでにない効果をもつ薬剤ですが、進行を止めることはできません。効果の程度、副作用のリスク、医療費の負担などを踏まえ、治療を受けるかどうかについては様々な意見があります。

2025 年の岩木プロジェクト健診でレカネマブを知っているかどうか、自分または親族がアルツハイマー病になった時にレカネマブによる治療を希望するかどうかについて調査を行ったので、その結果を集計し、現在のレカネマブの認知度やニーズを調べたいと思います。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日

対象となる方 2025 年の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2024-156-1）」において 2025 年に取得された以下のデータを研究責任者である西畠春生の責任の下、標記研究課題実施のために利用します。

利用データ：

個人記録票（年齢、性別）

健康調査票のアンケート結果（アルツハイマーについて）

認知機能評価（あたまの健康チェック）

具体的には、2025 年度に岩木プロジェクト健診に参加した住民すべてを対象として上記

のデータを集計します。アルツハイマー病に対する新たな治療薬である抗アミロイドβ抗体薬のうち、レカネマブに対する一般人口における認知度、及びレカネマブについて知った手段について調査し、さらに、レカネマブの効果・副作用について示した上で、もしもアルツハイマー病になったときに同薬による治療を希望するかどうかについて確認します。認知度や治療希望が、年齢や性別、受診者自身が認知症と診断されているかどうか、認知症患者が身近にいるかどうか、及び本人の認知機能評価結果によりどう違うかを解析します。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

外部への試料・情報の提供

ありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。研究への利用に同意いただけない場合には、「**情報利用提供停止願**い」をご提出ください。参加者／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、その方の試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 脳神経内科 西嶋春生 連絡先電話番号 0172-39-5142（研究室代表）
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205